

桐生繊維業界の実態

平成9年1月～12月

桐生市織姫町1番1号
桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概況

1. 調査対象団体数	20団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2. 産地収入	（昨年比較）
(1) 生産高	391億3,092万円（91%）
(2) 加工収入高	76億4,325万円（89%）
(3) 販売高	149億1,600万円（91%）
合計	616億9,017万円（91%）
3. 総組合員数	695事務所
4. 総従業員数（家族従業員含む）	5,479人
5. 一事業所当り従業員数	7.9人
6. 一事業所当り生産販売加工高	8,876万円
7. その他参考	

54年産地収入	1,078億 1,166万円（100）
55年	1,170億 6,380万円（109）
56年	1,110億 8,757万円（103）
57年	1,083億 3,093万円（101）
58年	1,023億 634万円（95）
59年	976億 1,960万円（91）
60年	917億 1,760万円（85）
61年	853億 4,182万円（79）
62年	804億 5,848万円（75）
63年	783億 8,548万円（73）
元年	841億 7,076万円（78）
2年	931億 1,687万円（86）
3年	908億 7,740万円（84）
4年	1,001億 1,232万円（93）
5年	893億 2,611万円（83）
6年	845億 3,438万円（78）
7年	733億 6,672万円（68）
8年	678億 3,478万円（63）

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組合員数 事業所	従 業 員 数				計	従 業 員 平均年齢
			従 業 員		家 族 従 業 員			
			男 人	女 人	男 人	女 人		
桐生織物(協)	広幅協議会	181	230	227	164	349	970	53
	内地協議会	146	332	536	155	144	1,167	56
桐生織物商業組合		7	18	15	2	4	39	46
桐生織物産地元売(協)		12	15	4	0	5	24	-
両毛輸出織物整染(口)		26	421	164	38	22	645	49
桐生染色(協)		30	196	32	14	17	259	48
桐生繊維製品(協)		61	270	778	20	27	1,095	39
桐生糸商組合		17	36	21	16	11	84	45
東日本編レース(口)		18	60	36	25	23	144	49
桐生撚糸(口)		25	4	25	29	27	85	59
両毛輸出スカーフ組合		5	5	3	5	2	15	-
桐生織物整経(協)		23	5	8	24	28	65	64
桐生意匠(協)		19	7	6	3	11	27	50
桐生紋紙(協)		15	16	2	27	20	65	-
東毛ジャカード刺繍(協)		11	18	29	12	22	81	42
桐生刺繍商工業(協)		59	142	221	100	96	559	50
桐生金銀糸(協)		13	29	15	0	4	48	47
桐生織物買継商友会		19	4	4	22	17	47	52
(協)シルク・ルネッサンス桐生		(14	0	0	0	0	0	-)
桐生テキスタイル商業グループ		8	30	30	0	0	60	42
桐生織伝統工芸士会		(55	0	0	0	0	0	-)
計		695	1,838	2,156	656	829	5,479	-

注 (1) 平成7年1月13日群馬県綿スフ織物(口)解散し退会。

(2) 平成7年5月17日桐生織伝統工芸士会が入会。

(3) (協)シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているので、計算に含まず。

2. 生産,加工高及び受注(出荷)先区分(工業部門)

単位 万円

所 属 団 体		生 産 高	加 工 高	計	昨 年 比 較	取 引 先 区 分	
						県 内	県 外
桐 生 織 物 (協)	広幅協議会	931,780		931,780	% 102	% 0	% 100
	内地協議会	562,281		562,281	96	0	100
両毛輸出織物整染(工)			333,009	333,009	101	38	62
桐 生 染 色 (協)			164,775	164,775	96	58	42
桐 生 織 維 製 品 (協)		1,462,043	62,900	1,524,943	85	0	100
東日本編レース(工)		435,000		435,000	95	58	42
桐 生 撚 糸 (工)			15,474	15,474	90	80	20
桐 生 織 物 整 経 (協)			12,917	12,917	85	85	15
桐 生 意 匠 (協)		24,745		24,745	99	71	29
桐 生 紋 紙 (協)		19,309		19,309	80	85	15
東毛ジャカード刺繍(協)		60,574		60,574	98	1	99
桐 生 刺 繍 商 工 業 (協)		128,660	175,250	303,910	70	2	98
両毛輸出スカーフ組合		18,700		18,700	100	0	100
桐生テキスタイル商業グループ		270,000		270,000	90	100	0
計		3,913,092	764,325	4,677,417	91	17	83

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

単位 万円

所 属 団 体	販 売 高	昨 年 較 比	桐生市内	県 内	県 外
桐生織物産地元売(協)	160,000	89	0	0	100
桐生織物商業組合	154,000	88	15	0	85
桐生糸商組合	950,000	96	64	6	30
桐生金銀糸(協)	95,000	79	90	5	5
桐生織物買継商友会	132,600	79	0	0	100
計	1,491,600	91	48	4	48

4. 内需向,輸出向区分

単位 万円

所 属 団 体	内 需 向		輸 出 向		計
	金 額	割 合	金 額	割 合	
桐生織物(協)広幅協議会	730,024	78	201,756	22	931,780
桐生織物商業組合	89,700	58	64,300	42	154,000
両毛輸出織物整染(工)	270,828	81	62,181	19	333,009
桐生染色(協)	149,295	91	15,480	9	164,775
桐生繊維製品(協)	1,524,943	100	0	0	1,524,943
桐生刺繍商工業(協)	303,910	100	0	0	303,910
桐生金銀糸(協)	95,000	100	0	0	95,000
両毛輸出スカーフ組合	0	0	18,700	100	18,700
桐生織物整経(協)	11,109	86	1,808	14	12,917
桐生意匠(協)	23,591	95	1,154	5	24,745
桐生紋紙(協)	18,344	95	965	5	19,309
計	3,216,744	90	366,344	10	3,583,088

5. 各団体の取扱品目

団体名	品目				
	割合	割合	割合	割合	割合
桐生織物協 (広幅協議会)	合織織物	人絹織物	絹織物	アセテート織物	その他
	100				
桐生織物協 (内地協議会)	帯地	服地	服飾工芸	着尺	
	71	12	10	7	
桐生織物商業組合	服地	二次製品	その他		
	74	16	10		
桐生織物産地元売協	帯地	着尺	二次製品	服飾工芸	その他
	70	15	5	5	5
両毛輸出織物整染(工)	ニット	合織	人絹	絹	
	46	36	16	2	
桐生染色協	合織	レーヨン・ キュプラ等	綿 ウール等	絹	
	50	31	10	9	
桐生繊維製品協	ブラウス	ニットシャツ	スーツ	ジャケット	その他
	69	13	5	3	10
桐生糸商組合	化合織	レーヨン	綿・スフ	絹	
	55	28	11	6	
東日本編レース(工)	カーテン レース	衣料レース	資材		
	70	18	12		
桐生撚糸(工)	合織撚糸	人絹撚糸	絹撚糸	金銀糸	
	68	30	1	1	

団体名	品目				
	割合	割合	割合	割合	割合
両毛輸出スカーフ組合	スカーフ				
	100				
桐生織物整経協	整経				
	100				
桐生意匠協	洋反金 蘭インテリア 帯 その他				
	27 27 25 13 8				
桐生紋紙協	紋紙 エンドレスペーパー フロッピー(直織式)				
	100				
東毛ジャカード刺繍協	ワッペン Tシャツ トレーナー ワンポイント刺繍 その他				
	51 21 10 8 10				
桐生刺繍商工業協	婚礼関係 ブラウス加工 婚礼加工 ハンカチーフ 雑貨				
	34 23 16 12 15				
桐生金銀糸協	金銀糸				
	100				
桐生織物買継商友会	帯 二次製品 着尺 広巾・服地 その他				
	86 8 3 3				
桐生テキスタイル商業グループ	婦人服地				
	100				

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量	
桐生織物協 (内地協議会)	広巾織機	121	桐生織物 整経協	整経機	28	
	並巾 "	1,103		ワインダー	1,200	
	小巾 "	205		計	1,228	
	レピア "	220	桐生意匠協	拡大機	10	
	計	1,649		コピー機	15	
桐生織物協 (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66	桐生意匠協	デザインシステム	30	
	" レピア	722		計	55	
	自動及び普通織機	1,320	桐生紋紙協	ピアノマシン	58	
	計	2,108		裁断機	25	
両毛輸出織物 整染(工)	精錬漂白機	87		桐生紋紙協	編成機	38
	乾燥機	121			ワンピース	27
	染色機	149	その他		69	
	仕上機	72	計		217	
	計	429	桐生刺繡 商工業協	横振りマシン	250	
桐生染色協	染色機(常圧噴射式)	124		ジャカードマシン	1,000	
	" (高圧 ")	41		計	1,250	
	" (汎 ")	42	桐生織維 製品協	縫製マシン	1,478	
	チーズ及びチーク	69		プレス	74	
	計	276		裁断機	79	
計	1,631	桐生撚糸(工)		イタリア式撚糸機	65	
東日本編レース(工)	ラッセル機		120	合撚式 "	35	
東毛ジャカード 刺繡協	ジャカードマシン		58	アップワインダー	6	
桐生撚糸(工)	イタリー式撚糸機		65	長谷式	6	
	合撚式 "		35	計	112	
	アップワインダー	6				
	長谷式	6				

7. 最近の推移（9年10月～10年2月）

所属団体		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比	上昇	変わらず	下降	前年対比
桐生織物(協)	広幅協議会			○	85		○		100
	内地協議会			○	90		○		100
桐生織物商業組合				○	80			○	95
桐生織物産地元売(協)				○	80			○	90
両毛輸出織物整染(工)			○		100		○		100
桐生染色(協)				○	98		○		100
桐生繊維製品(協)				○	90			○	95
桐生糸商組合				○	95			○	98
東日本編レース(工)				○	95			○	97
桐生撚糸(工)				○	90		○		100
両毛輸出スカーフ組合				○	95			○	90
桐生織物整経(協)				○	85			○	70
桐生意匠(協)				○	90			○	90
桐生紋紙(協)				○	90		○		100
東毛ジャカード刺繍(協)				○	90			○	97
桐生刺繍商工業(協)				○	50			○	50
桐生金銀糸(協)				○	80			○	80
桐生織物買継商友会				○	80		○		100
桐生テキスタイル 商業グループ				○	90			○	90
計		-	1	18	-	-	7	12	-

1. 桐生織物協同組合

★ 状況、事業概要

長引く景気低迷と消費需要が減退の厳しい環境が続いた1年であった。各分野とも前年の生産を下廻った。新規需要開拓事業、積極的に市場開拓等の事業を実施したが、国内外ともに相当に厳しい状態で推移した。

★ 今後の課題

この景気低迷の続くなか10年度も相当厳しい状況が継続すると思われる。

組合としても新規市場開拓、販路拡張、新製品の開発、高付加価値製品の開発等に積極的に取り組んでいく。

2. 桐生織物商業組合

★ 状況、事業概要

タイ・パーツに始るアセアンの通貨不安は極東にまで波及し、ここ数年来、産地の主要輸出市場に成長した韓国市場をも巻き込み、キャンセルという問題をかかえたまま越年した。

年初、期待をいだかせたヨーロッパ市場も回復にはいまだ遠く、唯一好調を伝えられたアメリカ市場も産地に活気をもたらすには至らなかった。その意味では年間通じての円安も、もはや効果をもたらす程のものではないといえるのかもしれない。

一方、内需も度重なる金融不安から消費者のサイフはかたく、掛け声だけに終始した感がある。

★ 今後の課題

○地盤沈下（扱い高の年々の減少）・組合構成員の老齢化と減少・若手組合員の不足等々、問題は山積している。もはや、一組合として対処、解決をはかれる問題ではなく、業界全体に共通する課題であると思う。もっと現実に目を向けた、業界全体での連けい、協力関係を作り上げるべきである。

3. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費の低迷により、売れ筋商品の見きわめが出来ず、全ての品目に於いて落込んでいるように思われる。特にフォーマル用袋帯が荷動きが少ないと思う。悪い中でも、おしゃれ着物、帯は健闘しているように見られる。

★ 状況、事業概要

経済状況が不安定なままの一年で呉服業界も、前年に増して苦境に追い込まれてきた年であったと思われる。11月以後一層の落込みで、先が見えず、金融不安もからんで、得意先の廃業倒産も一層増してくるよう思われる。

★ 今後の課題

日本の伝統衣装である呉服も、日常の生活リズムに合わず必需品の要素は消えていくものと思われる。趣向品として、一部の愛好者には残りますが、大量生産、大量販売の時代は無いものと思われる。消費者の意向に合った逸品物として作られるような生産形態に成るのではないか。

4. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 状況、事業概要

暖冬の影響もあるだろうが、消費者の経済や社会に対する不安が深まり、国内の景気は後退している。このような環境下、我が国の繊維産業は衣料消費の伸び悩みに加え、アジア新興工業国等の追い上げにより、輸出は減少傾向の改善は見られなかった。

内需・輸出ともに加工数量が減少または横ばい傾向から脱却できない中で、合理化、省力化並びにリストラ等も限界にきており、今後生き残りをかけた対応が求められる。

★ 今後の課題

染色整理業は燃料の多消費業種であります、昨年末京都において二酸化炭素等の排出削減の目標値が決定された。環境保全に充分配慮した数値削減の規制を心しておく必要がある。

又テキスタイルとアパレルをつなぐ中核としての重要性のもと、業界の構造改善も不可欠の問題と認識しておりますので、業界存立と発展のため、可能な限り努力してまいりたいと考えている。

5. 桐生染色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

繊維製品全般が先染品から後染品へ需要が変化して久しい。ネクタイ、ハンカチ等小物もプリント物が主流になっている。

輸出用に向けられる織物・ニットなども同様である。

★ 状況、事業概要

国内景気は益々停滞色を強めており、個人消費、住宅需要も低迷している。

一説によると、たんすの中には10年分の在庫が有ると云われるなかで、繊維製品の消費の低迷は著しい。

また、一方円安基調であるが、輸出用織物に使用される先染糸は大巾減、特にアメリカ向け織物に使用される練絹糸の減少巾が大きい。

輸出減少分を内需用でカバーできず数量、金額ともに減少している。

★ 今後の課題

技能労働者の養成と確保、小口染色品のコストの問題、並びに世界一高額と云われている電力、また為替相場場で値段の変動する燃料、大量に使用する水、これらをいかに節約利用するか課題は多い。

6. 桐生繊維製品協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

専門店はずでに客不足で勿論売上は減少、デパートも人は動くが売上げにならず、ごくわずか新しい傾向の物が出ればそれもぼつぼつと売れる程度である。コート類もバーゲン物に手を出さず位で、輸入物の質の高い、特に安い物への客でそれとて思わく程ではなかったと言う。3%から5%になった消費税のアップがすべての流通での障害となっている。

★ 状況、事業概要

前年とはともかく、前年同期比から少し下まわったと思われたが、後半から年末にかけては(9月以降)受注が減り、工賃も値下がりし、期待した後半が足を引っ張って越年となった。4月

から、消費税が3%とから5%にアップした事が以前の3%の消費税導入の時と環境が全然違う為、これと銀行、証券の問題が重なり、不況の元凶となったのであろう。

★ 今後の課題

我々は、製造直売と指向して進むか、他業種に転換するしか無いが、前者は既に其の方向に向かって実施しているが、在来のアパレルが全力で売ろうとしていてもなかなか売れないと言う状況の中で考えると二の足を踏む声も聞こえてくる。

現在の特に悪い市況が変わらない限り、何とも方策はない。

7. 桐生糸商組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

4月の消費税引上げ以降住宅建築の減少によりインテリア商品の売行不振又、消費者の買控えにより製品の在庫増となっている。

★ 状況、事業概要

平成9年の秋口より合繊糸（ポリエステルアクリル）の海外の増産、国内需要減のため価格競争が激化している。

★ 今後の課題

ポリエステル長繊維の安値販売競争が激化している昨年夏の玉不足状況は様変わりしており、ユーザーは買い控えの姿勢を強めている。このままではポリエステルは価格に対する信頼感を失ってしまう事となる。

8. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

カーテンレース関係は、チェーンラッシュェルの柄糸の細デニール糸から太デニール糸使いの変化の有る柄・小柄（小紋）調で全体に無地感覚の物が主流で高級感のある物が良いとされているが、価額が厳しく簡単な糸使いの柄が多い。ジャカードラッシュェルレースは価額が安いので巾150cmの既製品が多い。マフラー関係は、全般に高級感のあるモール糸使いが多くなっている。垢すりタオル関係は綿糸の混入物や、抗菌加工製品物等が多くなっている。

★ 状況、事業概要

上期、カーテンレース関係は1～3月仮需があり順調な推移で来たが4月以降、横這いから低調期となり、秋以降厳しい環境に入り11月以降特に厳しくなっており、12月より出荷数量が減少している。

マフラー（ショール）関係は、年間通して前年対比10%の増加と思われるし多少価額も上がっている。

垢すりタオル関係は、多少の高低の波はあったが年間横這いか少し厳しい推移と思う。衣料細巾レースが厳しい推移で苦戦と言われている。

★ 今後の課題

いずれにしても、特にカーテンレース関係は、製品が多く出過ぎているので何らかの生産調整の必要があるが問題が多くある。

チェーンラッシュェルレース中心に良い製品の生産に力を入れ、ジャカード落下板レースは少しでも高級感で変化のある製品を開発して新しい方向を見いだして欲しいと思う。

マフラー関係も多くの試作の結果、生産増につながっており、これからもどんどん、新柄作をすれば良い結果につながる。

9. 桐生燃糸工業組合

★ 状況、事業概要

輸入燃糸の増加で全て落込んでいる。

10. 両毛輸出スカーフ

★ 商品、消費者のニーズの変化について

結論的にこの商品は皆無になることはないと思う。世界中に同一商品が売れる珍しい商品で値段も受注関係で最低から最高まで値上がりすることがあり他の商品には見られない事である。輸出市場の市況回復を期待するより外にない。

★ 状況、事業概要

平成8年度は全般に順調に推移したと思われるが、中近東方面は中東戦争前の好調はうその様で船積皆無で反調のきざしは全然見当たらない。

香港の中国復帰後は引合皆無が続き心配したが最近ごく少量の船積が出来る様になった。加えて東南アジア通貨危機は為替レートの変動で取引をあきらめている様な気配である。ドイツのハンブルグも減少している。従って価格が下向気味で受注残も少なくなってしまった。

11. 桐生意匠協同組合

★ 状況、事業概要

桐生産地の受注が減少のため他産地（京都、石川、栃木）等への進出を図っている。デザインシステムへの設備投資を行っているため、各企業間の格差は広がっている。

組合員の高齢化により事業所が減少している。

★ 今後の課題

まず、(和)をもって組合員間の結束を図り情報交換、技術研修を今年度も進めて行きたい。そこになにかが生まれるのではないかと思う。

12. 桐生市刺繍商工業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

諸外国のブラウス、セーター等の刺繍製品の輸入増加に伴い、受注、販売共に昨年に続き減少、最近の状態でも相変わらず続いている。急速に進む流通構造の変革価格破壊により、外国諸国の製品の売れゆきが優先し、国内の製品の価格が高すぎて追いついてゆけない状態である。

★ 状況、事業概要

消費税の引上げによる消費低迷と金融不安とで買い控えられており依然低迷している。

需要の変動と市場の変化に対応する製品をつくること。供給者側による供給改善策や技術開発などが課題となる。

★ 今後の課題

① 零細企業が多いため情報交換、親睦場としているが不況が続く為、組合加入者の脱会をくい止めることが必要である。

② 技術者の養成等技術研修をおこなう。

昨年に続き群馬県繊維工業試験場において群馬県中小企業技術者研修（高級刺繍技術課程）を県の協力をえて講師は当組合員の大澤紀代美（黄綬褒章受賞、県アドバイザー、卓越技能士）により開催予定

③ 展示会や宣伝活動（例えば紙上活用）等、積極的に展開する

④ 青年部（後継者）の養成、指導

桐生テキスタイルプロモーションショー（TPS）事業への参加
（独自の作品を青年部にて、昨年は陣羽織を作成）

13. 桐生織物買継商友会

★ 商品、消費者ニーズの変化について

和服人口の更なる減少と貸衣裳による冠婚葬祭にも一段と利用度が増えている。今後の生活スタイルがますます洋風に移りつつあり、業界に明るさが見えない。

★ 状況、事業概要

不況によりきもの離れが一層すすんでいる。業務用の帯・きものは化合繊維となりつつあり、比較的化合繊維は、悪い中でも安定しているが、受注数が細かくなって来ている。

カタログ、通販、デザイナーブランド等々の商品は、厳しい中でも、健闘しているが、従来の流通業者は各集散地共に苦戦している。特に、専門店・高級呉服の取扱い卸商社は売上激減により難しい経営をよぎなくされている。

★ 今後の課題

産地の川上の現場において、技術者の高齢化と退職により減少している為に、新規商品の開発に支障が起きている。

長期に亘る不況で、得意先商社の支払いが延滞して来ている。又、破綻の恐れが出て来ている等々、課題は多い。

14. 桐生テキスタイル商業グループ

★ 商品、消費者ニーズの変化について

○商品は国際的選択の時代に完全になっている。

桐生で出来る商品の品質、感覚、価格がすべて国際価格でなければ通用しない。

○消費者のニーズはそういう意味での選択（チョイス）感覚であり衣料は第二次、第一次優先は行動、知覚的欲求になって来ている。（レジャー、スポーツ、インターネット、ete）

★ 状況、事業概要

○情報の共有化、情報のキャッチ商品開発に、北陸、尾州、各産地との競合。

コストの面で割高な桐生産地は、独特な商品開発に決め手を欠き苦戦中である。

総体的に受発注の期間が極端に短くなっている。小売市場での販売不振の影響でアパレル業界のコンバーターに対する生地発注が一層期近になっているので原糸仕込みから生産の時間の短縮化が著しい。

発注量もワンロットの数量が不況の影響で少なくなっている。

★ 今後の課題

○桐生の特色ある商品づくりと情報から生産までのネットワークが大きい課題となっている。

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

団 体 名	代 表 者 名	所 在 地	電 話
桐 生 織 物 協	佐 藤 富 三	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	五十嵐 健 雄	” 錦町3-1-15	45-1201
桐 生 染 色 協	塚 本 祐 平	” 永楽町6-6	22-9661
桐 生 織 維 製 品 協	関 口 幸三郎	” ”	46-2310
桐 生 織 物 商 業 組 合	正 田 弘 祐	” 錦町1-3-27	45-3181
桐生織物産地元売協	山 崎 達 郎	” 宮前町2-4-38	22-0345
両毛輸出織物整染会	朝 倉 融	” 永楽町6-6	22-2775
桐 生 糸 商 組 合	川 村 治 朗	” 仲町3丁目15-6	44-4171
桐 生 刺 繍 商 工 業 協	村 田 永 昌	” 永楽町6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 協	今 西 洋 右	” 巴町2丁目1,832	22-8539
東日本編レース会	小 堀 文 男	” 永楽町6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 会	田 中 堯	” 稲荷町4-29	44-9431
両毛輸出スカーフ組合	古 谷 恒	” 浜松町2丁目8-20	44-1771
桐 生 織 物 整 経 協	高 久 勇 雄	” 境野町6-304	45-0851
桐 生 意 匠 協	大 川 作 太 郎	” 広沢町4-1997-5	54-0568
桐 生 紋 紙 協	岩 崎 万 雄	足利市山川町538-1	0284 41-5764
東毛ジャカード刺繍協	西 村 千 春	桐生市新宿3丁目7-34	43-1166
桐生織物買継商友会	島 崎 英 三	” 本町1丁目3-18	47-4000
協シルク・ルネッサンス桐生	青 木 軍 次	” 広沢町4丁目2423-1	54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木 島 清	” 相生町5丁目13-4	52-4125
桐 生 織 伝 統 工 芸 士 会	新 井 實	” 永楽町5-1	43-2511

(平成9年1月~12月)